

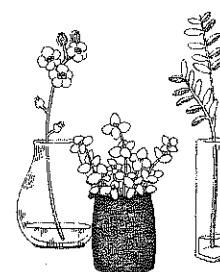


朝日新聞 2021年3月12日より

「(傷ついた人)無理して鼓舞しないでいただきたい。子どもだって、そつとおいて欲しいときもあります。勇気づけなくていい。マラソンの伴走者のように、粘り強く、見守つていただたらと思います」

3.11 松島市の遺族代表の方の言葉。この結びの言葉が胸に残りました。

## ●暮らしのヒント集



意が散漫になります。  
早く寝てみましょう。  
からだの調子が悪く  
よくならないでしょう。

暮らしの手帖  
2021.2~3月号より

お元気ですか。

「学校の保健室ってあるだろう。大したけがや病気でなくても誰でも行くことができ、ほとする場所。そういう場所をつくりたいんだ。」主人公(看護師)と夫(医師)は沖縄の小浜島に正島の保健室をつくります。(「ちゅらさん」最終回)  
『ちゅらさん』

2001年上半期 朝の連続  
(テレビ小説、田中恵和脚本)

がBSで昨年秋から再放送されていました。午後7時から8時45分までだったので全話見ることができました。(毎週月曜日 BS12)

今から20年前、この会話をとても感動したこと思い出しました。「保健室」という場を取り上げてくれたこと、そしてそこを「ほとする空間」と表現してくれたこと。とても勇気をもらい、頑張ろうという気持ちになれたことを覚えていきます。



～全数学習交流集会のニュースです。～

TANE!

全国青年教職員学習交流集会

「コロナがあつたからこそ見えてきた学校への問い」

全体講演 三木裕和さん(鳥取大学)

教師にとって一番大事なのは、子どもの気持ちがわかるということ  
教育の基本は、相手の身になるということ



全体講演は、特別支援学の講演でした。  
校の元教員で、現在、鳥取大学教授の三木裕和さん、子ども理解や学校が本來もつている価値について

養護学校(現特別支援学校)の教員になって数年経った時、「障害の重い子の医療的ニーズはわかるが、そ

が子どもを理解するとはめざすべき教育とは

お話しでした。

の子を人格のある存在として見ていくんだろうか」と限界を感じていたこと、同僚姿を見て「言葉のやりとりが教育ではない。一番大事なのはその子の気持ちがわかる」とと学んだと語りました。そうした経験から、子どもにとって「怖い」教

師とは、「元気で」「善い」「あふれ」「子どもの気持ちがわからない」の3つがそろった教師ではないか、と問い合わせました。

後半は、コロナ禍のもとで教育が大きな岐路に立たれており、経済界の求められる教育と対峙して、私たちがすすめるべき教育の姿について話しました。

質疑応答では、忙しい現場でどのように子どもを理解するか、保護者や同僚どう関係をつくるなどの質問がありました。三木さんは、子どもたちが「最後まで聞いてもらつた」という経験の積み重ねが大切なこと、教育はやつてみて反応を見ていく中で試される

みんなの望む保健室、学校の姿はどのようなものですが。今学校現場は「ブラック」と呼ばれ、働き方、新型コロナ対策、保護者との関係などさまざまな困難を抱えていることでしょう。本当に大変ですね。でも子どもの成長に関わる仕事ができるということは、困難さにも増して、喜びややり

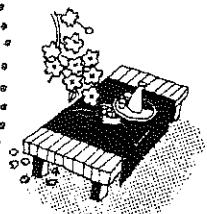
がいがあることだと私は思っています。

新年度、子どもたちも先生方もひがひがの4月です。初心を思い出し原点に戻って、子どもたちが幸せや達成感を感じられるような学校をめざしましょう。

1つ提案。自分の身なりのどこかに新しいものを身につけるのはどうでしょう。気分が上がるかもしれませんよ。

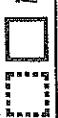
私は腕時計のバンドを新調しました。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



「～と～JGの見つけた、選んで。

CHECK!



## やくみつるの 小高・大吉

その651



●コミュニケーションから、変えてみる！

人には、けなされてその悔しさをバネに「クソー、がんばろう」とするタイプと、ほめられてますます調子に乗って「もっとがんばろう」とするタイプの2通りあると思いますが、誰でもほめられるといやは気はしないですね。

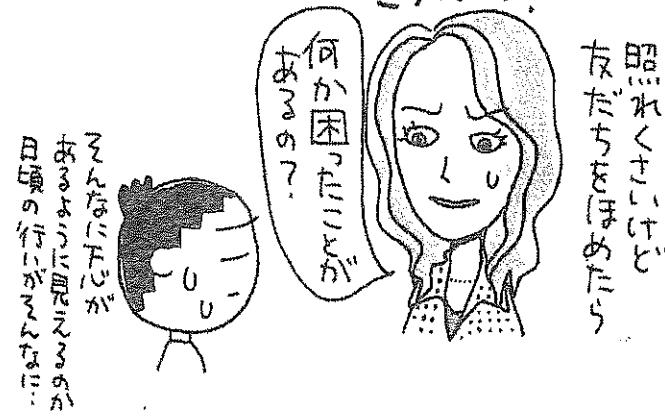
もちろん誰にどんなタイミングでほめられるかによって、嬉しさは変わってきます。「イヤミ」とか「何か下心があるな」と、ねじれて取る人もいます。

私の場合は、自分の尊敬する人、好きな人、認められない人に「言でもほめられると、恥ずかしいくらい有頂天になっちゃいます。もっともつとがんばろう」と同じでも木を登つてぐく典型的お調子者タイプ。

「んな奴ばかりじゃいりですかけど、まわりにいる人をもっとほめてみましょ。特に身内や親しい人には、つい『照れ』が入ってしまったから「わざわざ口に出さなくとも」と思ってしまふんですね。ほめようと思ひだし、相手のことを探そうと努力します。

人間って「アラ」のほうが田じつかやすいですが、そのあたりは半分田をつぶつて、どんどん口に出してほめてみましょ。

その人の「アラ」が、むへと味わしながら。



# 「キッカリ」



上大岡トメ

幻冬舎